

地質標本館特別展「砂漠を歩いてマントルへー中東オマーンの地質探訪ー」のオープニングセレモニーと特別講演会

地質標本館では、2012年4月17日から7月1日まで春の特別展「砂漠を歩いてマントルへー中東オマーンの地質探訪ー」を開催しました。4月22日には、科学技術週間の一環として、同特別展のオープニングセレモニーと特別講演会を催しました。

オープニングセレモニーは特別展会場である地質標本館ホールで11時30分から執り行われました。一村信吾副理事長の開会のあいさつの後、特別展にご協力くださり、当日ご来場されたオマーン・スルタン国の Khalid Hashil Al-Muslahi 駐日全権大使からスピーチをいただきました。次いで佃栄吉理事から特別展の開催趣旨説明があり、テープカットが行われました。この日ご列席いただいたご来賓の方々は、日本-オマーン国交樹立40周年を記念するため Al-Muslahi 大使自らお誘いされた4カ国の大使・大使館の

方々と、日本とオマーンの友好に寄与してこられた方々の33名です。産総研からは一村副理事長、佃理事のほか地質分野各ユニットの幹部が出席しました。

午後2時から共用講堂で特別講演会が開催され、冒頭の一村副理事長、佃理事によるあいさつの後、Al-Muslahi 大使にスピーチをしていただきました。この中で、この特別展が産総研とオマーンの研究機関との協力関係の契機となることへの期待が述べられまし



テープカットの様子
左から佃理事、Al-Muslahi 大使、一村副理事長

た。その後、産総研の小笠原正継客員研究員、三菱マテリアルテクノ株式会社の柴田芳彰氏、そしてオマーンのアースシークレッツ社の Khalid Nasir Al Toubi 氏の講演と続きました。講演会ではオマーンのすばらしい露頭写真がふんだんに映し出され、オマーンの大地と地質の魅力を中心に、風土や文化についても紹介されました。講演会は、会場入り口に準備した特別展パンフレット150部がすべてなくなるほどの盛況ぶりでした。



特別講演会でスピーチをされる Al-Muslahi 大使

ノルウェー産業科学技術研究所 (SINTEF)、エネルギー技術研究所 (IFE) とのワークショップの開催

2012年5月10日に産総研つくばセンターにおいて、ノルウェー産業科学技術研究所 (SINTEF)、エネルギー技術研究所 (IFE) とのワークショップが開催されました。ノルウェー側の出席者は SINTEF エネルギー研究局 Gran 局長以下総勢6名で、ノルウェー研究評議会、ノルウェー王国大使館からもご参加いただきました。ワークショップでは、産総研と包括的研究協力協定を締結している SINTEF と IFE から、現在までの連携研究の概要の紹介と今後の連携に関する提案がなされました。ノルウェーでは今後再生可能エネルギーに政府資金が重点的に配分されることになるため、太陽光、

地熱などの再生可能エネルギーや水素エネルギー分野における連携が重要との意見が出されました。ノルウェー研究評議会の Christiansen 博士からは、ノルウェーにおけるエネルギー政策とファンディング制度についてご紹介いただきました。産総研からは、エネルギー技術研究部門の山崎主幹研究員が省エネに資するパワーデバイスとしてのダイヤモンドに関するプレゼンテーションを行いました。全体討議では、エネルギー技術研究部門の角口研究部門長が、これまでの連携関係を総括しました。今後の展開については、特に再生可能エネルギーなどの重点分野での相補的な研究連携を強化すべき

であり、双方向の人材交流も必須であるということで合意が得られました。ノルウェー側出席者の皆様は、スーパークリーンルームと先進パワーエレクトロニクス研究センターを熱心に見学され、有益なディスカッションが行われました。



SINTEF エネルギー研究局 Gran 局長 (左) と矢部理事 (右)

2012年度「産総研イノベーションスクール」第6期開校式

報告

2012年4月27日に、2008年度より開設した「イノベーションスクール」の第6期開校式を、理事長をはじめ、スクール長の一村副理事長、副スクール長の瀬戸理事、景山上席イノベーションコーディネータを主催者として執り行いました。来賓として、経済産業省産業技術環境局大学連携推進課進藤課長、キャノン株式会社 田中顧問をお迎えしました。

今期も3倍以上の応募者から選考された33名（ポストドク22名、大学院生11名）が、産総研独自の取り組みであるイノベーションスクールの特徴的なカリキュラムに期待を膨らませ、開

校式に臨みました。進藤課長より「当事業は産総研の重要な業務なので一層の発展を期待している」、田中顧問より「視野を広くもち挑戦せよ」との激励の言葉をいただきました。「本格研究」の講義演習や実践、企業講師によ

る研究開発や経営の講義など、さらには企業の協力による企業OJTを実施し、産学官の3つのセクターすべてで研究を経験し、社会において即戦力としてオープンイノベーションを推進する人材の育成を目指します。



イノベーションスクール開校式での集合写真

グローバル戦略シンポジウム「グローバル化時代の研究開発とオープンイノベーション」の開催

報告

2012年5月8日に、日経ホールにて、グローバル戦略シンポジウム「グローバル化時代の研究開発とオープンイノベーション-日本を元気にする産業技術会議-」を開催し、産学官の各界から約500名の参加がありました。

シンポジウムでは、産総研 野間口理事長による基調講演、インドネシア技術評価応用庁 マルザン長官、帝人（株）長島会長、オーストラリア連邦科学産業研究機構 ハーチ次長、産業戦略研究所 村上代表の4氏が特別講演を行いました。続いて、総合科学技術会議 相澤

議員に講演していただいた後、「日本を元気にする産業技術会議」の中間取りまとめ報告を産総研 瀬戸理事および日本経済新聞社 滝論説委員が行い、相澤議員が意見を述べました。

「日本を元気にする産業技術会議」に関するお問い合わせや、活動内容、各種行事の詳細については以下の連絡先、URLをご参照ください。



シンポジウムの様子

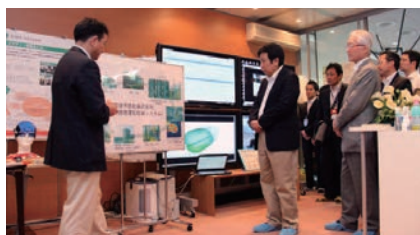
「日本を元気にする産業技術会議」事務局（産総研 連携千社の会 事務局）
〒305-8568 茨城県つくば市梅園1-1-1 産業技術総合研究所 中央第2
TEL: 029-862-6058 / FAX: 029-862-6130 / E-mail: senshanokai-ml@aist.go.jp
URL: http://www.aist-renkeisensya.jp/ind_tech_council/

枝野幸男経済産業大臣 臨海副都心センター訪問

報告

2012年5月24日、枝野幸男経済産業大臣が研究現場の視察のため、産総研臨海副都心センターを訪問されました。野間口有理事長のごあいさつに続き、デジタルヒューマン工学研究センターの持丸正明研究センター長から、「子どもの事故予防関連・ヘルスケア関連の研究開発」について研究内容・現場の紹介がありました。引き続き、同研究センターにて特定非営利活動法人キッズデザイン協議会の高橋義

則理事から、「キッズデザイン賞受賞製品の紹介」がありました。その後、会議室にて枝野大臣は野間口理事長や持丸研究センター長らと活発な意見交



研究現場にて
持丸研究センター長（左）から研究内容の説明を受ける枝野大臣（中央）

換をされました。これらを通して、産総研が行っている研究開発や今後の展開について、一層の理解を深めていただくことができました。



意見交換の様子